

岩手宮城内陸地震に関する記憶シート記入のお願い

震源地である巖美地域で震災に関する資料や現地を保存・記録し、今後、震災・防災教育に取り組んでいくために地域のみなさんの体験談をお寄せください。

体験談をもとに震災の記憶を、「日ごろの備え」、「発災時の留意点」、「避難所での生活」、「復興までの道のり」等に整理し、今後、起こりうる災害に備えていきたいと考えています。体験談の整理は、事務局で行いますので、地域のみなさんには、感じたことなどお寄せください。立派な文章でなくても大丈夫です。以下、例文を参考に、別紙に記入ください。

震災について写真など資料があれば合わせてご協力ください。(返却します。)

記憶シート(例)

あの時、親戚の結婚式のため盛岡に向かっていました。ちょうど前沢に差し掛かったあたりで突然の大きな揺れを感じましたが、そこまでの被害はないだろうと車を走らせ、盛岡の結婚式場に到着。しかし、式場には、花嫁しか来ず……。花婿は会場までたどり着けなかったのです。

式場のテレビのニュースで震源地が巖美であることを知り、慌てて近所の人に連絡をとり安否確認をしたが人的被害は確認されていなかった。地震の影響で遅れてきた花婿と合流し、15 時から結婚式を行い、巖美に帰ってきましたが、その惨状たるや啞然とするものでした。

私は、地元の消防団にも所属しており、産女川が土砂で埋まり土砂ダムができ、梅雨時期でもあり雨が降り続き土砂ダム決壊の危険性が高まったため関係機関と連携し、土嚢を積みながら決壊しないようにと祈りながら地域のみなさんと連日作業をしていましたが、疲労困憊だったことの記憶しかありません。しかし、あの時、産女川の土砂ダムが決壊していたら下流域である市街地の被害は甚大だったと考えられ、決壊を防ぐことができて良かったです。

事務局：巖し美しの里協議会

(巖美市民センター内)

TEL：29 - 22205 FAX：29 - 2251

